

# 「いつも」と「もしも」を支える トヨタホームの充電・給電設備

## 充電・給電設備ラインナップ

### 充電設備

#### 壁掛型充電器

「ラク」に「簡単に」充電ができる  
充電ケーブル一体型の充電器。

充電器本体にセットされているコネクターをクルマに差し込むだけ。  
充電のたびにケーブルを出し入れする必要がなく、毎日の充電作業を  
快適にします。



**壁掛型充電器(3kW)** 200V・16A  
(DNH323)  
基本工事標準価格(本体+工事費)<sup>※1</sup>  
**284,900円(税込み)~**

6kW充電対応車種なら、  
充電時間が約1/2に。<sup>※2</sup>

**壁掛型充電器(6kW)** 200V・30A  
(DNH326)  
基本工事標準価格(本体+工事費)<sup>※1</sup>  
**376,200円(税込み)~**

サイズ/高さ350mm×幅132mm  
×奥行115mm(突起部含まず)  
ケーブル/約5m  
温度環境/-30℃~+40℃  
防水性能/IP55相当  
(屋根や囲いのない場所でも設置可能)

※配線設計や現在の電源容量の余裕状況などにより、  
電力契約の見直しや、追加の工事が必要になる  
場合があります。

#### 壁掛型充電器専用 Dポール

建物から離れた駐車場へ  
充電器を設置するときに使います。

<埋込タイプ> <アンカータイプ>  
希望小売価格(工事費別) 希望小売価格(工事費別)  
**47,740円(税込み) 87,780円(税込み)**

※設置場所や状況により  
お選びいただけるタイプが異なります。

埋込タイプ

車種ごとに对应的する  
充電設備についてはこちら▶



#### コンセント

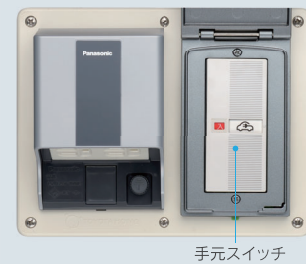
クルマに付属のケーブルを使用する場合に。

#### 200Vコンセント 200V・16A



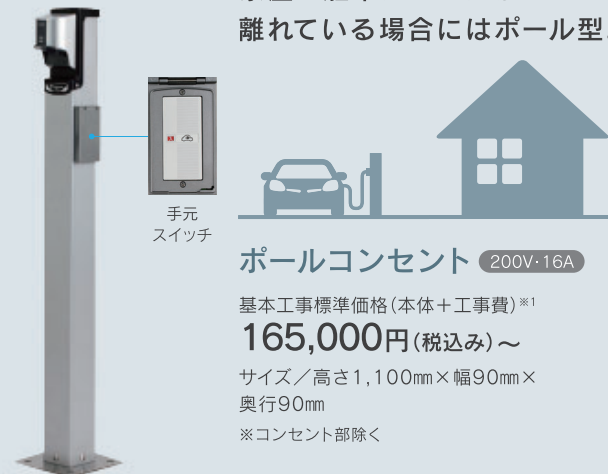
基本工事標準価格(本体+工事費)<sup>※1</sup>  
**104,500円(税込み)~**  
おクルマ充電専用配線を  
敷設します。  
安全のための手元スイッチ付き。  
サイズ/高さ160mm×幅205mm×  
奥行130mm

#### 100Vコンセント 100V・6A



基本工事標準価格  
(本体+工事費+電気点検)  
**56,980円(税込み)~**  
既存の屋外コンセントの配線  
を利用します。  
安全のための手元スイッチ付き。  
サイズ/高さ160mm×幅205mm×  
奥行122mm

家屋と駐車スペースが  
離れている場合にはポール型。



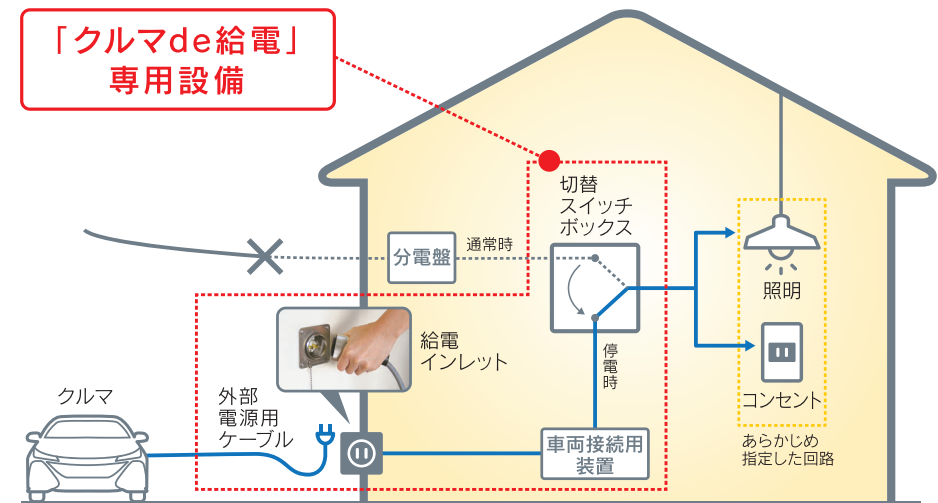
#### ポールコンセント 200V・16A

基本工事標準価格(本体+工事費)<sup>※1</sup>  
**165,000円(税込み)~**  
サイズ/高さ1,100mm×幅90mm×  
奥行90mm  
※コンセント部除く

### 給電設備

#### クルマde給電

供給電力 約1500W ハイブリッド車も対象



停電時にクルマから  
住まいへ給電。  
暮らしを守る「電気」の確保を。

住まい側に専用設備を設置して、停電  
時にクルマと住まいを外部電源接続用  
ケーブルで繋ぐことにより、冷蔵庫や照明  
など、生活に必要な家電類へクルマから  
電力供給できるシステムです。  
(あらかじめ指定した回路に限ります)

専用設備設置費用のめやす(機器+工事)  
**約398,000円(税込み)~**

※建物などの条件によって費用は異なります。  
※クルマに充電できません。

UX300eの場合、  
一般家庭の約2.5日分<sup>※3</sup>の  
電力を供給します。

最大1500W<sup>※4</sup>まで  
同時に使用可能!

■電力使用例(リビング・ダイニング指定の場合)  
ワット数は各電気製品の消費電力1台分の目安となります。

- 照明 20W
- 携帯電話 15W
- 冷蔵庫 100W
- 扇風機 50W
- TV 200W
- …など



あかりの確保

食材が備まらぬ

■イラストはイメージです。

#### 対応車種

詳しくは、ウェブサイトをご確認ください。

アクセサリコンセント<AC100V・1500W/非常時給電システム付><sup>※5</sup>または  
アクセサリコンセント<AC100V・1500W/ヴィークルパワーコネクター付><sup>※6</sup>を搭載した  
HEV(ハイブリッド車)、PHEV(プラグインハイブリッド車)、FCEV(燃料電池車)、BEV(電気自動車)



敷地や建物などの条件によっては、  
追加費用がかかることがあります。

※1「基本工事」…一般的な戸建住宅の充電設備本体設置工事(配線長10m以内) ※2 車両側が6kW充電に対応している必要があります。実際の充電  
容量・時間は自動車の仕様・制御によって変わります。 ※3 満充電の状態、停車中に400Wで供給した場合。AC100Vインバーター効率(400W  
出力時平均)=83.69%、補機消費(走行時)=160W、給電可能範囲=電圧ランプ点灯制御SOC20%~91%、電池容量53.3kWhとして試算した場合。

※4 車両が供給できる電力です。給電機能をお使いいただく際は、必ず各車両(トヨタ自動車)の取扱説明書をご確認ください。また電子レンジや電気ポットなど、消費電力の大きな機器を使用する際は、他の機器と同時に使用することは  
避けてください。また、1500W以下でも電気製品によっては正常に作動しない場合があります。 ※5 非常時給電システムを利用してアクセサリコンセントから給電してください。 ※6 ヴィークルパワーコネクターの車外コンセント  
から給電してください。